

TOPPAN HALL

2019/20 SEASON



*In memory of
Prof. Rainer Kussmaul*

MOZART

Project



ドイツが生んだ名ヴァイオリニストにして名室内楽奏者であり、卓越した教育者でもあったライナー・クスマウル (1946.6.3.~2017.3.27)。トッパンホールにとっては、その草創期とともに駆け抜けてくれた偉大なアーティストであると同時に恩人でもある。そして個人的には、室内楽の森の圧倒的な深さと魅力を教えていただいた師である。クスマウルは、アバド時代のベルリン・フィルにおけるレオン・シュピラーの後任として、メンバーに請われてコンサートマスターに就任。彼がその椅子に座るや、他のコンマスとは大きく異なる音楽が生まれた衝撃は、いまでも鮮やかに脳裡に焼きついている。ゴージャスな音とマッシヴなパワーを兼ね備え、誇りとしていた、あのベルリン・フィルが、クスマウルの大きな身体に一旦吸い取られ、夾雑物を取り除かれたかと思いきや、なんとも精緻で緻密で室内楽的な音を立ちのぼらせるのだ。それは、まさにアバドが求めていた音楽の作り方でもあったに違いない。そんなクスマウルに魅せられた日本人アーティストは多い。榎本大進や日下紗矢子は、彼のもとでオーケストラの魅力に目覚め、コンサートマスターの要職に就いた。田島高宏も、札幌のコンマスの仕事を一時辞めてクスマウルに師事した。教えることが大好きで、人(仲間)と一緒に音楽をすることが大好きだったクスマウル。若き日のニルス・メンケマイヤーや久保田巧も、そのキャリア形成時にクスマウルと共演し、クスマウルに可愛がられたアーティストだ。

メンケマイヤーは語る。「クスマウル先生にお会いした時、私はまだ学生でしたが、幸運にも先生とブラームスの弦楽六重奏曲を共演することができました。当時の私はまだ経験も浅く、ためらいなくエネルギーに自在に演奏するにはあまりにもシャイで、先生を前に委縮していました。そんな私がまさにステージに上がろうとしたその時、先生は私の背中をポンとたたき「自分の直感を信じて、ためらわずに弾きなさい」と言ってくださいました。そしてステージの右側から笑顔で勇気づけてくださったおかげで、私は恐怖心を追い払うことができました。忘れられない瞬間でした。尊敬すべき教師であり音楽家であるクスマウル先生は、バロックと古典を演奏する際のピリオド奏法を最初に取り入れた第一人者であり、数えきれないほどの人々に影響を与えていらっしゃいます。しかし、なんといっても私の記憶に残る先生のいちばんの思い出は、優しく包み込んで勇気づけてくださるステージ上でのオーラです。その寛大な精神こそが、先生が多くの人々に愛され、評価され続けている最大の理由だと思います。」

ずっと、どういう形で実現させようかと思いを巡らせていたクスマウルを偲ぶ追悼コンサートは、メンケマイヤーとの出会いでより具体的なイメージを描くことが出来た。以前、クスマウルと「次にトッパンでやろうね」と約束していたモーツァルトの2つの弦楽五重奏曲を核に据え、メンケマイヤー、日下紗矢子、久保田巧、田島高宏といったクスマウルにゆかりの演奏家たちに声をかけた。加えて、メンケマイヤーの盟友であるウィリアム・ヨン、日下の音楽仲間であるヴィルヴォール、さらには若い才能が大好きだったクスマウルの思いを汲んでチェロ界のホープ、岡本侑也にも出演を要請し、2日間にわたるプログラムを立案した。初日は、クスマウルを偲び、モーツァルトのデュオと室内楽作品を配した。2日目の後半には、メンケマイヤーと温めていた企画であり、彼が昨年、世界初演したというショスタコーヴィチの秘曲に、最後のヴィオラ・ソナタを組み合わせた。特に、ショスタコーヴィチの《白鳥の歌》は、クスマウル追悼の思いをこめての選曲だ。極限まで純化された《白鳥の歌》を温かい音で奏でるメンケマイヤーの演奏を、クスマウルはきっと天国で、あの大きな体を揺すりながら微笑み、聴いてくれるに違いない。

プログラミング・ディレクター 西巻 正史



Rainer Kussmaul



Nils Mönkemeyer

I 4 | 9 2020 トッパンホール 19:00開演 Thursday 9 April 2020 19:00 TOPPAN HALL

モーツァルト Mozart

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ ト長調 K301(293a)
Sonate für Klavier und Violine G-Dur K301(293a) [T.Kubota & W.Youn]

幻想曲 ハ短調 K475
Fantasie für Klavier c-Moll K475 [W.Youn]

ピアノ四重奏曲 ト短調 K478
Quartett für Klavier, Violine, Viola und Violoncello g-Moll K478
[S.Kusaka, N.Mönkemeyer, Y.Okamoto & W.Youn]

弦楽五重奏曲第4番 ト短調 K516
Streichquintett Nr.4 g-Moll K516
[S.Kusaka, T.Tajima, N.Mönkemeyer, A.Willwohl & Y.Okamoto]

II 4 | 10 2020 トッパンホール 19:00開演 Friday 10 April 2020 19:00 TOPPAN HALL

モーツァルト Mozart

ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 変ロ長調 K424
Duo für Violine und Viola B-Dur K424 [S.Kusaka & N.Mönkemeyer]

弦楽五重奏曲第3番 ハ長調 K515
Streichquintett Nr.3 C-Dur K515
[T.Kubota, S.Kusaka, N.Mönkemeyer, A.Willwohl & Y.Okamoto]

ショスタコーヴィチ Shostakovich

ヴィオラとピアノのための即興曲 Op.33
Impromptu für Viola und Klavier Op.33 [N.Mönkemeyer & W.Youn]

ヴィオラ・ソナタ Op.147
Sonate für Viola und Klavier Op.147 [N.Mönkemeyer & W.Youn]

日下紗矢子 Sayako Kusaka **Violine**
久保田 巧 Takumi Kubota **Violine**
田島高宏 Takahiro Tajima **Violine**
ニルス・メンケマイヤー Nils Mönkemeyer **Viola**
アンドレアス・ヴィルヴォール Andreas Willwohl **Viola**
岡本侑也 Yuya Okamoto **Violoncello**
ウィリアム・ヨン William Youn **Klavier**

N i l s M ö n k e m e y e r

モーツァルト・プロジェクト
~ライナー・クスマウルをしのんで~

In memory of
Prof. Rainer Kussmaul

MOZART

Project



2007年10月23日<ライナー・クスマウル プロジェクト 6>

●単券

料金	発売	発売 [会員]
6,500円 / 学生3,000円	12月11日(水)	12月7日(土)

●2公演セット券

限定数販売 全席指定 会員同時入会可

料金 [通常価格13,000円のところ]	発売	発売 [会員]
トッパンホールクラブゴールド会員 9,750円	12月4日(水)	11月30日(土)
レギュラー会員/一般 11,050円		

主催：トッパンホール 特別協賛： 鹿島建設

トッパンホールWEBチケット <http://www.toppanhall.com/>

トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222

チケットぴあ 0570-02-9999 / ローソンチケット 0570-000-407

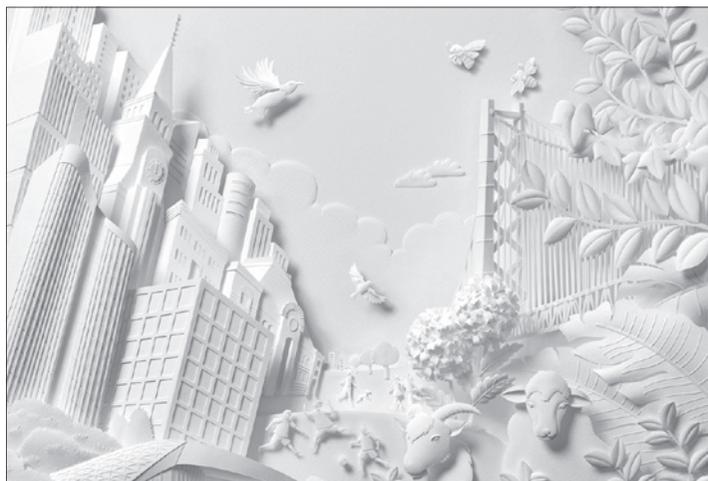
会員優待割引およびセット券は、「トッパンホールWEBチケット」「トッパンホールチケットセンター」でお申し込み頂けます。
*学生券(席の限定有)は、トッパンホールチケットセンターで販売いたします。*未就学児のご入場はお断りいたします。
*託児サービス【要予約・有料】:公演日1週間前までにイベント託児・マザーズ 0120-788-222 [10:00~12:00, 13:00~17:00(土日祝休み)]へお申し込みください。

※やむをえず、曲目・出演者などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。
※開場は開演の30分前となります。

交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
後楽園駅 地下鉄丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
都営バス [上69][飯64]「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

トッパンホール 〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515
<http://www.toppanhall.com/>



「あした」は、ナニイロ？

鹿島のしごと。
それは「あした」をつくること。
人と自然と向き合って、
よりよい毎日をつないでいくこと。
暮らしを描く、ものづくり。
無限の創造力で、彩り豊かな未来へ。

100年をつくる会社
 鹿島